

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.181

2017年3月8日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

学校予算を考えよう

第2回学校事務 実践講座

2月、ラッセホールにて第2回学校事務実践講座を開催しました。今次講座は、これまで学校行財政部会がすすめてきた研究テーマ「子どもの教育と学校予算」のレポート報告をもとに、学校事務職員として学校予算を考える機会とすることを目的としておこないました。

全体会では、「学校自治を支える学校事務職員像～韓国の事例から～」と題して学校行財政部会協力研究所員の尾崎公子さんにお話しいただきました。日本と同じように、韓国でも少子化による地域の空洞化や学校統廃合といった問題が起きていますが、小規模校対策のとりくみにおいて両国で共通点や相違点があるそうです。韓国のとりくみの柱である「教育福祉という理念」「学校自治というしくみ」などを例に、持続可能な社会を構築するインフラとしての学校をどのようにつくっていくのかについて提起されました。



午後は、学校行財政部会が作成したレポート「子どもの教育と学校予算」の報告をもとに、グループワークをおこないました。学校行財政部会では、経済的理由で家庭における生活環境や学習環境が非常に厳しい子どもが多くいる現実から、わたしたち教職員に何ができるのかを考え、「すべての教職員が学校予算を知り、積極的にかかわることで、『子どもにとってよりよい教育環境』をつくりだすことができる」という強いメッセージをすべての教職員にむけて発信する必要があると考えています。



今回のレポートには「学校予算とは何か」「学校予算の現状と課題」「学校予算委員会のあり方やモデル案」についてすべての教職員が知っておきたい内容がまとめられ、「教員」と「学校事務職員」それぞれのはたすべき役割が整理されています。さらに、「家庭・地域・関係機関とのかかわり」についても提起されています。

レポート提起を受けた後、参加者でレポート内容や各校の実態について意見交流をおこないました。今回のレポートを、学校予算を「知る」「共有する」契機として、学校の教育活動や地域でのとりくみ、予算拡充、保護者負担の軽減につながる運動へと発展するよう、レポート内容を周知していく必要があります。今後、各支部・分会においても市町教育予算学習会等と連携し、学習を深めていけるようなとりくみをお願いいたします。



「子どもの教育と学校予算」レポートは各支部・分会・事務職員部員へ配布します。また、兵教組HP（組合員専用ページ）にも掲載します。【ID・パスワードは各支部へお問い合わせください】